　御門徒の皆様、有縁の同行様のお陰により、平成27年度の報恩講を無事に勤めさせて頂くことができました。この場をお借りし深く御礼申し上げます。婦人会のバザーについても品物の集荷から連日の販売に到るまでお手伝い下さった会員の皆様、本当にお疲れ様でした。お陰様で過去最高の売上額を達成することができました。さて、報恩講は浄土真宗の寺院にとりまして最も重要な法要と云われております。私たち迷いの衆生を救おうと願を起こし、長き御修行の末に願成就なさった阿弥陀仏への御恩を報じさせていただくという大切な法要です。しかし私はどんなに早く準備を始めてもやることがいっぱい、いつもキリキリ舞い、もっとゆったりとゆとりをもって厳かに報恩講をお勤めしたいと思うのです。しかし『恩徳讃』の「身を粉にしても報ずべし」「骨を砕きても謝すべし」というフレーズが頭をよぎります。報恩講を楽にお勤めできたらそれは報恩講でなくなる。キリキリ舞いしてヘトヘトになってこその報恩講なのかもしれません。　　　　　　　　　　　合掌

**【第3回長仁寺仏教婦人会定例聞法会】**

日時：　３　月　１３　日（日曜日）

昼の部１時半から　　夜の部７時半から

（念珠、赤本、肩衣、歎異抄）